

山田みやこの活動報告

平成30年10月31日(水)

高根沢町フリースペース「ひよこの家」を訪問

高根沢町教育委員会が平成15年9月に開設した、不登校児童生徒のためのフリースペース(居場所)。ここでは安心して心を休ませ、自分らしさを発見できるようにゆったりと過ごし、毎日の活動の中で社会的に自立していける力を身に付けていく。ここでの学習、体験活動を通して、様々な分野の学習や活動に対する意欲を高め、将来への道筋を考えていけるようスタッフが支援。

決まったプログラムはない。本人とスタッフで相談して決め、一日を過ごす。伺った日はちょうどハロウィンの日。玄関先で大きなカボチャをくりぬいて顔を作っていた。とっても楽しそうだった。

義務教育の位置付けで給食もある。教育機会確保法が平成27年に制定され、学校以外の学びの場の設置や休みたい時には休養してもいいという事が認められた。

先駆的に取り組んでいる「ひよこの家」への県外からの視察が増えているという。卒業後も報告や相談に訪れる子どもたちもいる。

表面的な学校復帰を目的とせず、児童生徒の状態に応じて学習指導を行うが学校に代わる学習の場ではない。

まず心を休ませ、自分らしい自分を発見し、社会的自立をしていくための居場所になっている。

もっともっと「ひよこの家」が増えていかなければならない。適応指導教室ではない存在。

何よりも子どもたちの明るい顔が印象的だった。



開級日

(1)開級日時

第1学期：平成30年4月9日～平成30年10月5日
第2学期：平成30年10月9日～平成31年3月22日
※高根沢町立の小中学校と同じです。

開級時間：午前9時～午後3時30分

(※水曜日は午後2時30分まで)

(2)日課

基本的に、「ひよこの家」には決まったプログラムはありませんが、子どもたちとスタッフで相談して、1日の過ごし方を考えていきます。



理念

「ひよこの家」では、表面的な学校復帰を目的としません。また、児童生徒の状態に応じて学習の指導も行いますが、学校に代わる学習の場ではありません。学習の場であるよりも、まず子どもたちが安心して心を休ませ、自分らしい自分を発見し社会的自立をしていくための居場所とします。

運営方針

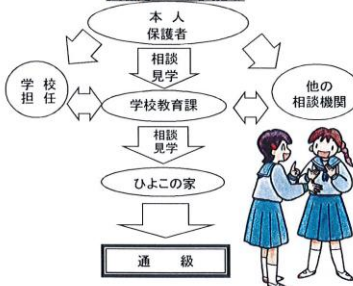
- (1) 児童生徒の状態や特性に応じ、適切な個別指導を行い、自立性や社会性など豊かな人間性を育むための援助をする。
- (2) 保護者や在籍校との連絡を密にし、不登校生徒の理解を深める援助をするとともに、児童生徒へのかかわり方を支援する。

活動内容

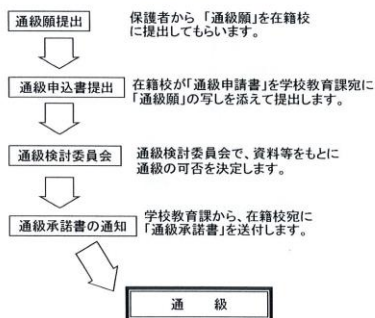
- ①学習・・・個別学習・グループ学習等
(個別に対応)
- ②スポーツ的活動・・・
○多目的室ホール(卓球・エア・ホッケーなど)
○町教育施設の体育館
(バドミントン・バスケット等)
- ③体験活動・・・
○月に一度の体験学習
(調理・カヌー・防災教室・各種施設見学等)
○アロマ・コラーージュ体験
○クリスマス会や卒業生を送る会など
- ④創作的活動・・・
○調理実習(月1回)
○絵画製作・工作・裁縫
○誕生日会のスイーツ作り等
- ⑤面接相談・・・
人間関係や生活、進路など、様々な悩みについて、じっくり話を聴いて、一緒に考えていきます。(随時)
- ⑥その他・・・動物とのふれあい



入籍までの手続き



通級の流れ



特色

○家庭的な雰囲気

田んぼの真ん中にある「ひよこの家」は、田舎のおばあちゃん家のような、安らげる雰囲気です。太い枝からぶら下がるブランコ、広い土間、囲炉裏を囲んでのおしゃべりなど、子どもたちにとって心安らげる居場所となるような家庭的な雰囲気を大切にしています。お昼は、小中学校と同じ給食が届けます。

○体験学習活動

月に一度の体験学習をはじめ、他の通級指導教室との交流会やスポーツ大会など多様なイベントを企画します。これらの体験活動を通して、仲間づくりや集団への適応力と自己肯定感を高めていきます。また、地域の人々を講師として招いての体験教室、「この人と語ろう」など外部の方々とも語り合うことで、コミュニケーションスキルの向上をはかります。

○子どもたちの自主性の尊重

子どもたちが自主的に自分の1日の活動プログラムを決定します。また、毎週金曜日に「ひよこサミット」と命名された話し合いの場を設け、1週間の活動予定や過ごし方、その他の問題についてみんなで話し合います。

○地域住民との交流

地域の公民館活動への参加や地域の方々をご招待してお茶会、地域のごみ拾い活動など、日頃お世話になっている地域の方々に感謝の意を表すとともに交流を深めています。

○ひとりひとりの個別支援

月に一度、ひとりひとりの「個別支援計画書」を作成し、ひよこの家、高根沢町教育委員会、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとともに事例検討会を開催します。また、学校での会議にも参加し、連携しながら個別の支援をしています。

